

## ハワイ大学医学部プログラムに参加して

前々から留学に関心があり、高知大学医学部でハワイ大学からの留学生受け入れのお手伝いに関わったりする中で、このようなプログラムがあることを1年生からなんとなく知っていました。そのため、『3~5年生対象』として掲示を見つけた時、深いことは考えずとにかくすぐに申し込んで、実際に参加させていただきました。貴重な体験ができ、大学や先生方に変感謝しております。

ハワイ大学医学部での1週間のプログラムは充実しており、日本の医学部ではなかなかできない学びがありました。

参加者のほとんどが日本人でしたが、大学も学年も異なる医学生と一緒に、専門的な医学の題材で、もちろん英語で、PBLや医療面接の練習をしたことは、3年生の私にとって刺激的でした。題材がまだ習っていない呼吸器や循環器だったので日本語でも知らない知識が多かったのですが、同じグループの4年生がしっかり理解してPBLに参加している様子を見て、驚きました。来年もしこのプログラムに参加するとしたら彼らのように話せるようなレベルになっていたいなど、勉強に対するモチベーションが上がりました。PBLにはハワイ大学の学生も参加していて、彼らもまた2年生ながら自分より知識が豊富でした。

また、医療面接について、高知大学の英語の授業中、生徒同士でやった以外には、やったことがなく、実際の患者さんに禁煙を勧めたり聴診を行ったりする練習は初めてでした。日本語ですらやったことのないことを英語でやるので、とても緊張したことを覚えています。けれども、事前にハワイ大学の先生方が分かりやすくかつ楽しく教えてくださったため、習ったことを実践することで身になりましたし、患者さんへの声掛けの仕方などは、今後も間違いなく役に立つ経験です。参加してよかったプログラムの一つです。

一番楽しかったのは、注射の練習です。参加者2人1組になり、お互いに練習し合いました。6年間医学部にいても、注射器を握ることは数回しかないと聞きます。ましてや3年生では全く触ってもいません。小さめの針とはいえ、初心者には長く見えてしまい怖かったです。しかし、教えられた注射のさし方はシンプルで、想像していたより全然痛くありませんでした。

他には、内視鏡や外科的手術のシミュレーションもありました。何から何まで、「初めて」ばかりでした。3年生という若い学年であっても、たくさんの学びが得られました。

ここまでプログラムの勉強的な側面を書いてきましたが、ハワイ大学の学生や他大学の参加者との交流や、ハワイという場所も、魅力的でした。いろんな人と学校の話などを共有でき面白かったですし、毎日のハワイ大学でのプログラム後、食事や観光に行ったりもしました。大学が海やショッピングセンターに近いので、勉強した後はビーチで遊んで過ごすこともできる素敵な環境です。さらには、ハワイでは基本的に天気の良い日が多く、流れる時間がゆっくりしているのです。このような恵まれた環境のおかげで、ハワイ大学留学がただ勉強のためだけにとどまらず、勉強も遊びも含め、ハワイで過ごしたことですべてが、自分にとって楽しいものだったと断言できます。

最後に、少しでも海外や留学に関心のある方に、伝えたいことがあります。それは、この留学は一般的な留学と比べて、内容的にも金額的にも参加しやすいものであることです。私は英語にそこまでの自信はありませんでしたが、他の参加者も皆が英語をペラペラ

に話せるということはなかったので、英語に関してあまり心配はいいりませんでした。また、内容について3年生にはやや難しいものもあるように感じましたが、周りが上級生ばかりで確実に刺激を受けますし、上の学年で参加されれば、より勉強したと結びついて有意義な時間になると思います。1週間という短期間ですし、これに参加したからと言って英語が上達するものではありませんが、これからの医学の勉強につながる機会として文句のないプログラムです。しかも、学校から少しお金を補助してもらうことができます。ぜひ、予定を開けることができれば、掲示を見て参加してみてください。まだ低学年のうちであれば、7月頭に高知大学へ留学生が来るときに一緒にごはんへ行って、後々ハワイに行けたときに再会するのも、楽しいです。もしお話しする機会があれば、気になること何でも聞いてください。

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。改めまして、この留学に参加できたこと、小林先生をはじめとする大学の方々に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。